

第5・6学年 特別活動(児童会活動)「児童委員会活動(保健)による全校発表」

本單元における学習者用端末の利活用

○手だて

- ・全校発表において「熱中症やその対策を全校児童に伝える」ために、動画を作成した。学習者用端末を活用し、「情報収集を行う」「集めた情報をまとめる」「分かりやすく伝える」ことをねらいとした。
- ・指導は「情報収集は正しい発信元から、正しい情報を入手すること」「低学年の児童も理解できるように、伝え方の工夫をする」ことに配慮するよう支援を行った。

○使用したアプリやコンテンツ



指導の展開

児童が「自分たちの身体は、知識や工夫により自分たちで守ることができる」ということを伝えるために、テーマの設定、内容、役割分担等を自主的・主体的に取り組んだ。

○テーマの設定 「コロナ禍における熱中症対策」(満場一致で決定)

○役割分担における工夫

児童が必要な役割を考え「脚本演出」・「演者」・「動画撮影・編集」に分かれた。教員は、動画で分かりやすく伝えるには、どう工夫すればよいか考えるよう促すことに重点を置いた。



「脚本演出」・・・コロナ禍における熱中症予防方法等の情報収集をインターネット等で行い、「劇」「解説」「クイズ」という構成にまとめた。また演者の児童だけでなく換気の仕方やサーキュレーターを設置方法もわかりやすい絵面を考えた演出に努めた。

「演者」・・・セリフがしっかり伝わるように、また低学年の児童も聞き取りやすいように、動画上で聞き取りやすい発声や話す速度を意識した。

「動画撮影・編集」・・・解説のポイントを字幕にしたり、内容に沿ったイラストを挿入したりして、低学年の児童にも分かりやすいよう工夫をした。



○動画確認 全員で作品のわかりやすさをチェックし、最終調整を行った。

○発表 動画を流しその終わりに、温湿度計を各クラスに届け、説明を行う。アナログ的要素も組み込み、教室の反応を保健委員会の児童が実感できる場面を設けた。

成果と課題

集中して動画を鑑賞していた全校の反応や周囲の友達から「すごいと褒められた」という感想に、保健委員会児童は大きな達成感を感じていた。また、本校ではこの夏、熱中症の発症がなかったため、熱中症予防の意識付けを高めたと考えられる。この成果にも喜びを感じ、他の健康課題(発熱や風邪予防、けがの予防等)についても啓発するための動画を作成したいという声があがっている。